

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-36005(P2004-36005A)

【公開日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2003-366114(P2003-366114)

【国際特許分類第7版】

B 2 2 F 1/00

B 2 2 F 9/14

【F I】

B 2 2 F 1/00 L

B 2 2 F 1/00 M

B 2 2 F 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月14日(2004.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

下記式、

【数1】

$$Span = \frac{D_{90} - D_{10}}{D_{50}}$$

式中、

$D_{90}$ は、銅又はニッケル粉体の90%(90容量%)は、ミクロンメーター( $\mu m$ )で表わして、この直径( $D_{90}$ )よりも小さいことを示し、

$D_{10}$ は、銅又はニッケル粉体の10%(10容量%)は、ミクロンメーター( $\mu m$ )で表わして、この直径( $D_{10}$ )よりも小さいことを示し、

$D_{50}$ は、銅又はニッケル粉体の50%(50容量%)は、ミクロンメーター( $\mu m$ )で表わして、この直径( $D_{50}$ )よりも小さいことを示す、

で定義されるSpanが3.3以下である制御された粒径及び粒径分布を有することを特徴とする高度に結晶性で、微細及び超微細の銅又はニッケル粉体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

式中、

$D_{90}$ は、銅又はニッケル粉体の90%(90容量%)は、ミクロンメーター( $\mu m$ )で表わして、この直径( $D_{90}$ )よりも小さいことを示し、

$D_{10}$ は、銅又はニッケル粉体の10%(10容量%)は、ミクロンメーター( $\mu m$ )

で表わして、この直径（D<sub>10</sub>）よりも小さいことを示し、

D<sub>50</sub>は、銅又はニッケル粉体の50%（50容量%）は、ミクロンメーター（μm）

で表わして、この直径（D<sub>50</sub>）よりも小さいことを示す、

で定義されるSpanが3.3以下である制御された粒径及び粒径分布を有することを特徴とする高度に結晶性で、微細及び超微細の銅又はニッケル粉体が提供される。